

2011.JUN

釣り人が創る逸品釣具

ぎあ・らぼ

お気楽Gear-labニュースレター第31号です。

梅雨まっただ中ですが、Gear-Labはムンムンとした熱気に包まれて仕事をしております。

Gear-Labが最高に忙しい時期を迎えてるのは、釣りシーズンでもあるし、7月のラスベガスのICAST出展のための準備、リールなどの大物の釣具にとりかかったこと、そして国内外の出張、で…飲み会。(~_~;)

釣り業界を見てみると凹凸が特に激しいようです。業界全体は震災が影響して売上数字が悪いところが多いのですが、反対に忙しくてもうこれ以上は仕事は受けられないという製造業者もあります。そんな会社をみていると一様に言えることは情報発信をして自ら小さいながらもトレンドを作っているというところでしょうか。これは釣具に限らず全ての業界に言えるようです。

お客様から「これが欲しいんだけどいくら？」と言われるような仕事はしてはならないという姿勢です。次々と新しい情報発信をして、自社や私自身に合ったお客様と一緒に楽しむのが一番良い仕事の仕方なんでしょう。とするならば自社や自分が何なのかをしっかり見つけなくてはいけないのではないかと。その手段として旅を続けると明確になって参ります。先月はドイツ、今月は北京、上海へと旅して参ります。



旅暮らし四方山話。(その20)

5月にドイツのフランクフルトとデュッセルドルフに行って参りました。

ドイツにはDAMという素晴らしい釣具メーカーがあり、ドイツの釣具を見て回るためです。またインターパックという世界最大の包装資材展があったのでそれもじっくり見てカルチャーショックをうけて帰って参りました。

まずフランクフルト空港は大きくて乗り換えと荷物のピックアップが分かりません。人に尋ねてみようとしたが、どうせ聞くなら金髪ブロンドの若い女性に限ると、決め込んで背が高くてモデルみたいなお姉さんにアトラクト。そうしたらなんと詳しく優しく教えてくれるではないですか、ピックアップが分からなかったのでルフト

ハンザの職員に聞いてくれてます。私は嬉しくて上機嫌でお礼を何度も言って別れました。

その後10分くらいして先ほどの金髪女性が大きな声を上げて追いかけてきます。??どうしたん??「やっぱり間違いなかったわ。あなたはデュッセルドルフで荷物を受け取れるのよ。安心して旅を続けなさい。」と思を切らしながら言うのです。私は驚くやら嬉しいやらで彼女を抱きしめたりました。(~_~)

ドイツのファーストインプレッションは最高です。ドイツが大好き！
写真はドイツの居酒屋。(右上につづく)



Gear-labは普通の釣具店にはない新しく夢のある逸品釣具を紹介し続けます。全国の熱い人たちと共に本当に良いものを世の中に出すことに真剣であり常識にとらわれない商品開発や逸品釣具を求める方とのみチームを組んでいきます。



さてさて気を良くした私は、デュッセルドルフ空港からタクシーに乗りました。タクシーが立派なベンツなんです。アウディーのタクシーも多いのですが、飛ばします！ここはアウトバーンじゃないでしょ？と言いたくなるくらい。

そして何でもがオールドファッショングのドイツには、オートマチックではなく99%がマニュアルシフトの車ばかりだと聞きました。

早速ドイツ人のドイツ語通訳者に会いましたが、ここでも暖かい親切をいただきました。

ホテルがEU全土のシンギングコンテスト開催中でとても高い時期なのでホテルではなくて自宅に泊めてくれるというとんでもない待遇なのです。カップルで住んでいるにも拘わらず私にベッドルームを明け渡してくれるなんて。あの親切には本当に感動です。

ドイツのビール、ハム、ソーセージそしてドイツパンは本当に旨いし気候は快適ですし、もうドイツに住んでもいいなと真剣に考えたくらいです。朝食はお肉やさんでいただくのです。

ドイツはドイツ人の次にトルコ人が多く、その次にイタリアン、もちろん全ヨーロッパから色んな人たちがいて人種のつぼです。

写真はドイツ伝統料理なのですが、豚足ならぬ豚ヒザです。これが妙に柔らかくて旨いんです。でもあまりの大きさに参ってしまいました。

私は飲みにいくと自分のテーブル以外の人たちを巻き込んで怪しいマジックをします。調子にのって人の携帯電話を浮かしたり、遠くのものを動かしたりしていると「オマエ明日テレビ局へ必ず行け」と言われたり、横のテーブルのドイツマフィアの12人のおじさんたちとは変なことになってしまうし。自分でハプニングを引き起こしてしまうのです。

気をとりなおしてバーで飲んでからもまた事件です。

カウンターに座った私は「ドライマティーニをください」と言ったのですが、カウンターの中の綺麗な金髪女性(好きやね)はなぜかマティーニを3つ持ってくるのです。？？？まあいいかと飲んでみると全然ドライではない甘くベルモットが効いたマティーニです。

Gear-Labがリーダーを開発中

先月はU.S.リールをリリースさせていただきましたが、これが好評中でして使った方々は大物釣りにドラグの素晴らしさを何度も言われて嬉しいばかりです。

さて、調子にのったGear-Labはとにかく大物を釣りたいという非常に単純な動機で次はリーダーを開発中です。

リーダーを開発？　はい。今までの概念にはなかったリーダーです。つまりPE0.8号で10kgのヒラマサを釣ることができればどんなに釣りが変わるだろうとニヤニヤしながらリーダーの開発にいそしんでいるわけです。お楽しみに。



見かねて「私はドライマティーニを注文した」と言うと彼女は「そうよドライマティーニよ。」と言う。

「いや。私はドライマティーニを注文した。」「そうよドライマティーニね。」？？？流石に貴方は間違っていると言うとマネージャーが飛んできて英語で「貴方はドイツ語を分からぬのか？ドライはドイツ語で3という意味なんだ」と。

ドイツ語で1, 2, 3はアインス、ツバイ、ドライです。

つまり私は「マティーニを3つ」注文したわけです。 (~_~;)

株式会社ギアラボ

〒813-0016 福岡市東区香椎浜2丁目5-2-701

Tel 092-663-5196

Fax 092-663-5102

Mail NQE50210@nifty.com

このお気楽ニュースレターのバックナンバーは下記にございます。

<http://www.gear-lab.com/newsletter/main.htm>

Gear-labホームページ

<http://www.gear-lab.com>



毎月の新製品に追われ、全国を旅しながら、モノづくりと販売のお手伝いをしています。

お気軽にメールください。面白い釣具があれば全国どこへでも参上します！一杯呑みましょう。(~_~)

福山克義(ふくやまかつよし) お気楽DETCこと福山でした
メール NQE50210@nifty.com